



学校教育目標 社会に貢献しながら、
自立する生徒の育成
～気づき、考え、実行する～

やまゆり

校訓 「和の心」

指導重点

- ① 居心地がよく、やる気のある
学級集団・学校づくり
- ② 確かな学力の育成
③ 豊かな心の育成
④ 健やかな身体の育成
⑤ 特別支援教育の推進
⑥ 生徒の良さを伸ばし、課題を解決するための
「連携・協働」の推進



通学路の合同点検

ありがとうございます！

11月11日（火）の午後、『道志村通学路安全推進協議会（以下「協議会」）』の委員（村関係者、道路管理者、警察関係、保護者、教職員から構成）の委嘱後、村内の危険箇所の点検を行いました。本協議会は、平成25（2013）年12月の「通学路の交通安全の確保に向けた着実かつ効果的な取組の推進について」に基づき設置され、以来、毎年通学路の合同点検を実施しています。

本村の児童・生徒は、徒歩、又はスクールバスで登下校をしています。村内を縦断する国道413号線、通称「道志みち」は、富士五湖方面と神奈川県を結ぶルートで、以前から高速道路渋滞の迂回路としても知られていました。今ではこれに加えて、二輪車や自転車のツーリングコースとしても人気があり、週末だけでなく、平日の交通量も格段に増しています。

そのため、児童・生徒は、これまで以上に交通安全に気を付ける必要があります。学校においても、日常的に注意を呼びかけています。

今回の通学路の合同点検を受けて、早急に改善できることもあり、対応していただく予定です。

卒業後の進路選択

「正しい選択」ってあるのかな？

10月下旬、3年生は、中学卒業後の進路について、保護者を交えた面談を行いました。3年生の皆さんは、小学校6年間、中学校3年間の義務教育期間を終え、中学卒業後の進路を、自分自身で選ばなければならま

せん。これは、今まで歩んできた人生の中で、もっとも大きな「選択」を迫られているといえます。色々と迷っている人も多いことでしょう。「自分」が納得して、これから進む道を選んでほしいと願っています。

生徒たちは、これから先、何事においても「自分で決める（＝選択する）」ことが増えてきます。

例えば、高校に進学した場合、高校卒業後、大学進学か就職かの選択。大学進学又は就職の場合でも、都会か地元かの選択…等々。換言すれば、“人生は（進

路）選択の連続”といえます。人生の先輩（先人）も、多くの名言を残していますが、私たちは、どのような時代や環境においても、様々なことを考えながら、進路を選択しているのです。自分にとって、これが「正しい選択」かどうか……、選択の時点では分からないことも多いでしょう。

だからこそ、“自分の進路は、自分で決める”という姿勢が大切だと思います。

私たち大人は、今でも、様々な思いや夢を抱きながら、暮らしています。人生のそれぞれの時期に、進路

について、考え、悩み続けた結果、最終的に、自分は〇〇〇という職業にたどり着いた、ということではないでしょうか。誰もが、自分に、何が一番合っているんだろうと悩みながら、先のことに夢や希望

望、不安を抱きながら、歩んでいるのです。

3年生の皆さんは、いま、その出発点に立っているといえます。“その学校（その職業）が、自分に合っているかどうか？”…実際、その道に進んでみなければ分からないことも多いでしょう。

変わる可能性もあるからこそ、色んな助言や情報等を総合的に判断して、自分で決めてください。選んだ道を進んでいくのは、自分自身です。誰かが代わってくれるなんてことはできません。私たち大人は、皆さんの選択を尊重し応援しています。

